NEWSLETTER（２０１７年度３号）　2017年7月21日

教職課程センター・地域学校教育センター

特集　教員採用試験・教育実習

教員採用候補者
選考受験者激励会

受験者数（延数）
日本語学科
千葉３茨城１愛媛１
英米語学科
千葉４東京３埼玉２
北海道１品川１
女５男８

7月5日アゴラ

2017 年度
1次試験日
北海道6月25日/千葉・東京・埼玉・茨城
7月9日/愛媛22日
/品川30日

7月１２日

地域学校教育センター

都立田柄高校(栃倉和則校長)の留学生交流会に行ってきました。乗換え、炎天下の移動と大変でしたが、１年生(5 学級 182 名)のクラスで自国の紹介などをしました。チャイナドレスやきれいな刺繍の民族衣装を着て文化の紹介もしてくれました。本学から 14 名が参加しました。

国際交流員会(30 名)との懇談では留学生を身近に感じてくれたことでしょう。

教職課程センターでは、教員採用候補者選考に備え、数々の支援策を実施しています。国語・英語補講、教職教養補講、教職特別講座（外部講師）、論文指導、願書記入指導、面接指導、教職ガイダンスなどなど。時事通信社による教職特別講座では面接練習を４年生に、また

Center IMA

２・３年生には教職ガイダンスを東京アカデミーから講師を招き、力のこもった受験対策を行いました。来年度の受験準備はもう始まっています。

試験に直接かかわる対策としては、模擬試験を年４回実施し、さらに３月には勝浦セミナーハウスで合宿指導も計画しています。

行ってきました　教育実習　①実習校　②「一言であらわすと」　③後輩に贈るメッセージ

山本紗和　千葉市立磯部中学校「幸せ」
日々の授業の学習指導案は、事前打合せで範囲を確認したら即取り掛かることをお勧めします。直前に直されたりするので余裕を持って準備を。そして、生徒と一緒にすごしてください。かわいいし、モチベーションがあがります。

福田実央　浦安市立富岡中学校「最高」
実際に参加するまでは緊張と不安で何度もやめたいって思っていました。でもやってみると毎日違う発見があり、3週間が短すぎるくらい楽しかった。最高の思い出にしてください。

村山将和　千葉県立多古高等学校「観察」
生徒をよく観察してください。
準備できることは最大限準備して臨んでください。

善志瑞歩　北海道東神楽町立東神楽中学校「刻苦勉励」
現場に行ってみると、大学で学んできたことや自分が想像していたものと違うこともあり、最初は戸惑いや不安が出てくることがあるかもしれません。しかし、ハングリー精神でがむしゃらに頑張っていれば、最後の日には計り知れないほどのものを得られます。

大塚桃加　茨城県守谷市立御所ヶ丘中学校
「教師になりたいという思いがさらに強まった三週間」
実際の現場で実習をさせていただける、本当に貴重な時間だと思います。慣れない環境での生活は大変なことも沢山あると思いますが、実習で過ごした時間は後に宝物になると思います。応援しています。

大野浩輝　埼玉県立入間向陽高等学校　「苦楽」
準備を怠ることなく実習に臨んでください。授業はうまくやろうとせず、生徒との関係を築くことを心がけてください。周りを見ること、気を配ることが大切です。

小関聖翔　千葉市立貝塚中学校
「最高な経験」
まずは、自分が楽しむこと。緊張は生徒に伝わり、ずっと緊張していると生徒ともよい関係を築けず授業も失敗しやすい。心の底から楽しむことが大事。

飯泉智尋　流通経済大学付属柏高等学校「財産」
先生方の授業、お話、生徒たちとの出会いは尊い自分の財産になると思います。大学でできない実践的な体験を、貴重な時間を精一杯過ごして、素敵な財産を作ってきてください。

栗林倫也　愛媛県立松山工業高等学校「理想と現実」
今をがんばることが大切です。

仲田彩生　栃木県立鹿沼東高等学校「精神修行」
研究授業までにも授業があって、その度指導教官からのフィードバックや自分自身の振返りで落ち込むことばかりでした。そこで投げ出してしまうと生徒に迷惑がかかるので、自分の甘え、弱さに負けず、何かを得て成長できたと感じられる時間にして欲しいです。

小倉拓人　浦安市立明海中学校「日々勉強」
教育実習でしか体験することができないことがたくさんあるので、日々勉強する気持ちを忘れないようにして欲しいです。楽しいこと辛いことなどあると思いますが、一生懸命頑張ってください。

倉田裕太　茨城県石岡市立国府中学校
「自分の人生を変えた出会い」
教育実習前、沢山の不安はあると思いますが、実際に言ってみると本当に新鮮なことばかりで新しい経験がたくさんできます。頑張ってください。

亀井照太　帝京長岡高等学校
「向き不向きより前向きに」
私は、辛いと思ったことは一度もなく、毎日毎日が成長の積み重ねであり、非常に充実し、楽しい実習になりました。それは、大学生活で苦手だった国語に対し、前向きに取り組むことで好きになっていったからだと思います。「向き不向きより前向きに」前向きな姿勢で頑張ってください。

井上拓弥　長野県松本　　市立梓川中学校「大事なのは目標を持つこと」
3週間の実習の期間に私が生徒たちに伝えたかった事は「目標を持ってみんなで協力すればなんでもできる」ということでした。しかし、日々成長していく生徒の姿を見て、逆に私が生徒たちに目標を持つことの大切さを確認させられました。

クリーンキャンペーン
6月12日～30日、延べ150名余の教職員と50名余の学生による美化活動でした。留学生も回りました。地域の方からも声をかけていただきました。学内の美しさはだれの力か考えました。《大庭》

Mimiyori

京葉線の車内広告を見ている高校生たちがいました。いつ行くか相談しています。
TVCMやFM番組を持つ大学もあります。本学は人の魅力で学生を集めましょう。

発行：明海大学教職課程センター・地域学校教育センター（Vol.11）